※令和３年度以前入学生用

| 学校番号 | ３０３６ |
|---|---|

# 令和５年度　英語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 英語 | 英語理解 | 4 | 第３学年 | 教科書「CROWN　English Communication Ⅲ」（三省堂）<br>リスニング教材「共通テストドリル 英語リスニング 10minutes 改訂第２版」（Z 会）<br>SKYWARD SKY Course（桐原） |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語理解の授業は、1.2 年生で培った「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力を発展させる授業です。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、及び大学入試でどのように問われるか、ということを意識して学習することが大切です。

・音読は英語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

## 2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「英語理解」（４単位）「英語表現」（２単位）「異文化理解（文系・２単位）」

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| ◆身近なトピックに関してわずかな時間の準備で１分程度のスピーチができる。<br>◆その際には具体的な理由を添えて、自分の意見を述べることができる。<br>◆与えられたトピックについて簡単な理由を添えて即興で自分の考えを述べることが出来る。 | 英語理解<br>・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ<br>・定期考査<br><br>異文化理解<br>・ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ<br>・ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ | ◆複数の段落で序論・本論・結論を意識して、時間をかけた修正を経て、自分の意見をわかりやすく書くことができる。<br>◆自分のよく知っているトピックに関して参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を書くことができる。 | 英語表現<br>・ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞ<br>・定期考査 | ◇はっきりと話されれば、身近なトピックについてのニュースの要点を聞きとることができる。<br>◇自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスなどを聞いて、大切なポイントを漏らさず、概要を把握することができる。 | 英語理解<br>・ﾘｽﾆﾝｸﾞﾃｽﾄ<br>・定期考査<br>異文化理解<br>・ﾘｽﾆﾝｸﾞ | ◇まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック・サポート・例示・詳細などを押さえながら、全体の要旨を理解することができる。<br>◇難しい部分を読み返すなどしながら、高度な内容について精読できる。 | 英語理解<br>・音読テスト<br>・定期考査 |

## 3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

| 単元<br>（配当時間） | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson４<br>（６時間）<br>Does Money Make You mean? | グローバル化に伴う貧困率の低下と貧富の差の拡大について理解し、ポール・ピフが後者の問題をどのように捉え、分析したか理解する。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・貧富の差の拡大について知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。 | ・各セクションを読む前にキーンついてのワークシートを予習としてさせる | ・Can・Do リスト<br>①　②③ | ・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・貧富の差の拡大について適切に書く。 | ・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。 | ・Can・Do リスト<br>②　③ | ・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・貧富の差の拡大について読んだことを理解する | ・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。 | ・Can・Do リスト<br>④ | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・比較の表現 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・比較表現の使い方を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson７<br>（６時間）<br>Being Bilingual | デイビッド・クリスタルのエッセイを読む。２言語併用の現実や言語の統制・抑圧の事例などを通し、自分自身および他者の母語の大切さを知る。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・２言語併用について知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。 | ・各セクションを読む前にドーキンスついてのワークシートを予習としてさせる | ・Can・Do リスト<br>①②③ | ・２言語併用について知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・２言語併用について適切に書く。 | ・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。 | ・Can・Do リスト<br>①　③ | ・２言語併用について適切に書く。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・２言語併用について読んだことを理解する | ・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。 | ・Can・Do リスト<br>④ | ・２言語併用について読んだことを理解する |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・動詞句 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・慣用表現の使い方を理解した | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson８<br>（６時間）<br>The Magic of Reality | リチャード・ドーキンスの科学エッセイを読む。不思議な事象と人々の反応の事例を通して、物事を科学的に考えることの意義を知る。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・リチャードドーキンスについて知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。 | ・各セクションを読む前にリチャードドーキンスについてのワークシートを予習としてさせる | ・Can・Do リスト<br>①　②③ | ・リチャードドーキンスについて知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・リチャードドーキンスについて適切に書く。 | ・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。 | ・Can・Do リスト<br>②　③ | ・リチャードドーキンスについて適切に書く。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・リチャードドーキンスについて読んだことを理解する | ・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。 | ・Can・Do リスト<br>④ | ・リチャードドーキンスについて読んだことを理解する |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・多くの慣用表現 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・様々な慣用表現の使い方について理解する。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson９<br>（６時間）<br>Green Revolution, Blue Revolution | 1960 年に必要とされた食糧危機に対する改革「グリーンレボルーション」と、2010 年に必要とされた水危機に対する改革「ブルーレボルーション」について理解する。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・グリーン及びブルーレボルーションについて知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。 | ・各セクションを読む前にグリーン及びブルーレボルーションついてのワークシートを予習としてさせる | ・Can・Do リスト<br>①②③ | ・リチャードドーキンスについて知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・グリーン及びブルーレボルーションについて適切に書く。 | ・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。 | ・Can・Do リスト<br>①③ | ・リチャードドーキンスについて適切に書く。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・グリーン及びブルーレボルーションについて読んだことを理解する | ・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。 | ・Can・Do リスト<br>④ | ・リチャードドーキンスについて読んだことを理解する |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・多くの慣用表現 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・様々な慣用表現の使い方について理解する。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 10<br>（ 6 時間）<br>Looking into the Eye of History | 世界で唯一実践で原子爆弾を使用したアメリカの前大統領バラク・オバマ氏の、広島スピーチを読み、核兵器のない世界を目指す必要性を理解する。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。知っている情報を間違うことをおそれず、積極的に話す。 | ・各セクションを読む前にオバマ氏のスピーチについてのワークシートを予習としてさせる。 | ・Can・Do リスト<br>①②③ | ・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・オバマ氏のスピーチについて適切に書く。。 | ・セクションごとに興味を引かれたことについてワークシートに英語で書く。 | ・Can・Do リスト<br>①③ | ・ワークシートを見てその内容を取り組み状況の判断材料として活用する |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・オバマ氏のスピーチについて読んだことを理解する | ・セクションごとに、関連した写真などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。 | ・Can・Do リスト<br>④ | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・接続詞的表現の使い方を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・接続詞的表現の使い方を理解している | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元<br>（配当時間） | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| SKYWARD SKY・Sky Course（桐原）<br>25 時間 | Unit 1<br>～<br>Unit20 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | | | | |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | | | | |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | | Unit 1～Unit20 | | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | | | | |